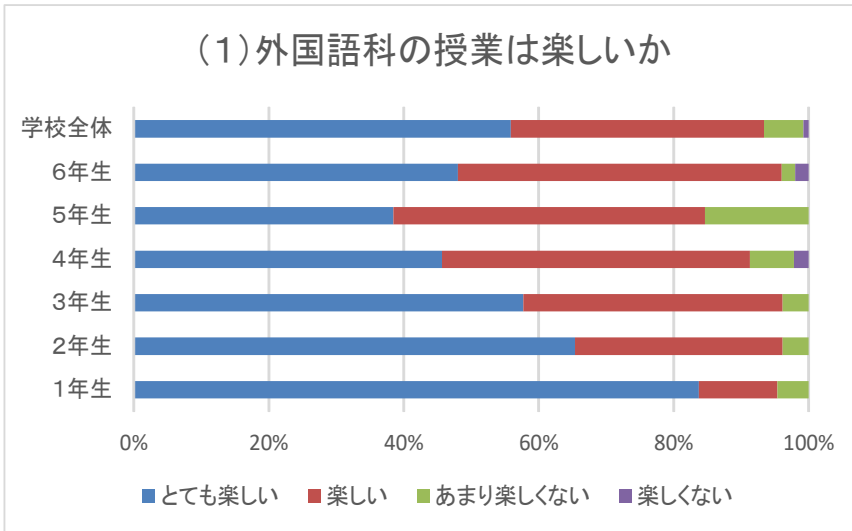


外国語科に関する調査結果（R3年度）

天草市立牛深小学校

【児童へのアンケート結果より】

(1) 外国語科の授業は楽しいですか。

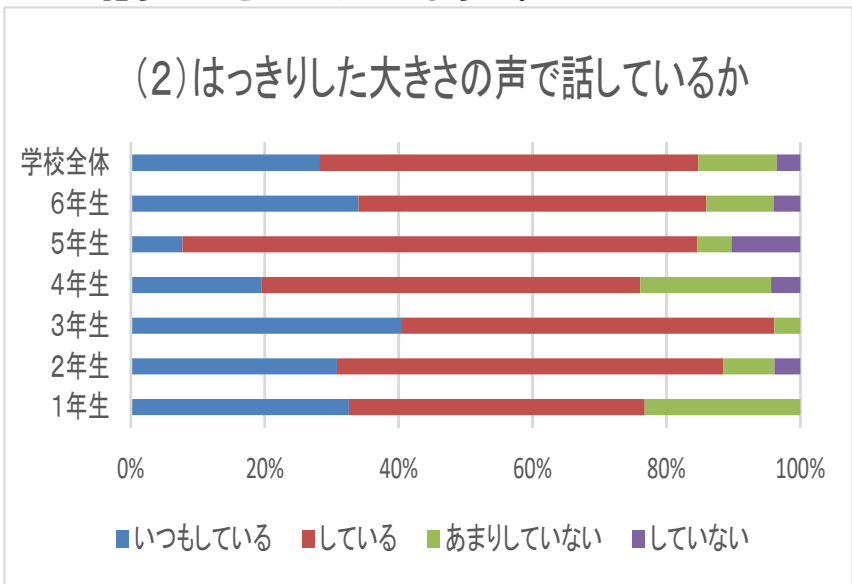


【考察】

昨年度と比べると、「とても楽しい」と感じている児童が全体的に増えている。(特に3～5年生)高学年になっても意欲が持続していることがうかがえる。

5年生の「あまり楽しくない」という児童がやや増えているのは、「書くこと」が入ってきたことへの戸惑いがあるようである。

(2) 相手に伝わりやすいようにはっきりした大きさの声で話すことを心がけていますか。

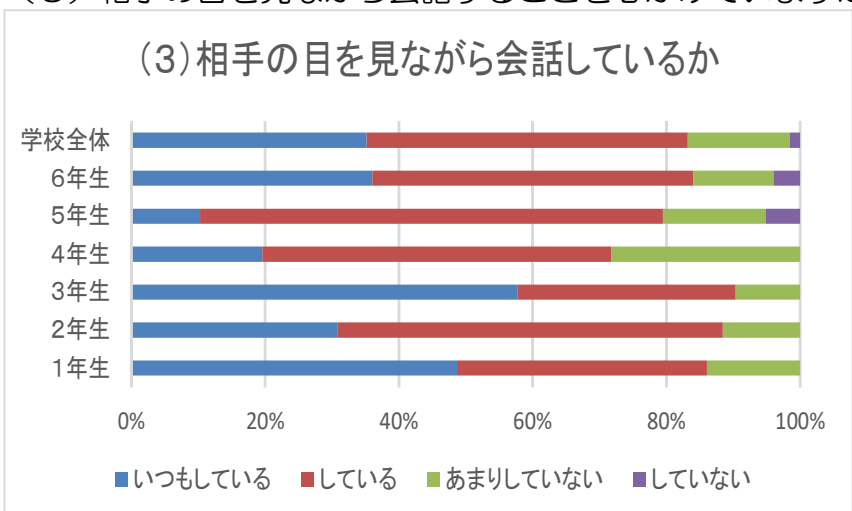


【考察】

「意識している」と答えた児童が全体的に80%を超えている。

1年生は、外国語科の授業が初めてにもかかわらず、「クリアボイス」に対する意識は高かった。「していない」児童も若干増えてきているので、来年度は全体的に意識させたい。

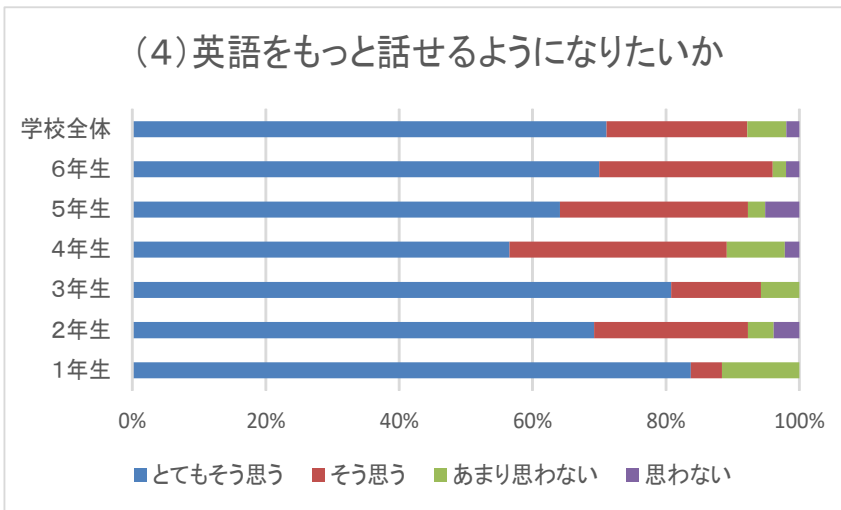
(3) 相手の目を見ながら会話することを心がけていますか。



【考察】

学校全体としては、昨年度よりやや意識が低くなっている。他の教科の授業でも発表するときに常に意識させている観点なので、教科全体での意識化を図る必要がある。牛小スタンダードで定期的に自己評価をさせていきたい。

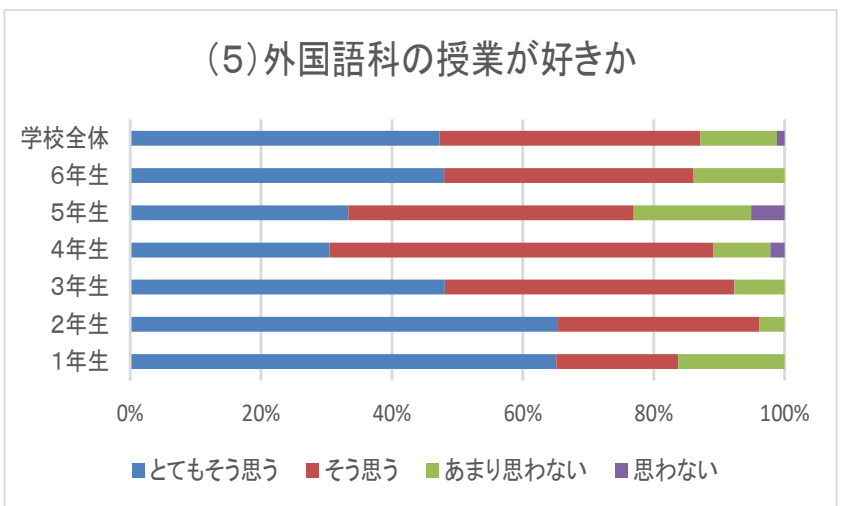
(4) もっと英語が話せるようになりたいですか。



【考察】

全体的には、「もっと話せるようになりたい」児童はやや少なくなりましたが、「とてもそう思う」と答えた児童は逆に増えてきている。「話したいけど、うまく話せない」と思っている児童に、いかに自信を持たせる学習にしていかが、今後の課題である。

(5) 外国語科の授業は好きですか。

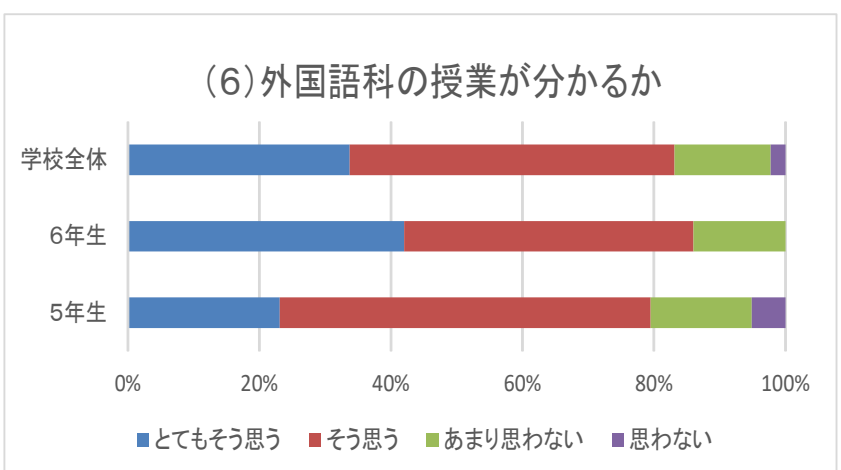


【考察】

昨年に比べて、「とてもそう思う」という児童が高学年で増えてきており、さらに「思わない」という児童も昨年に比べてかなり少なくなっている。

楽しい中にも学びがあるという授業づくりを、担任とALT, JEATとで工夫することで、効果が表れている。

(6) 外国語科の授業は分かりますか。



【考察】

6年生は「分かる」児童が80%を超えているが、5年生は、「あまり分からない」「分からない」という児童があわせて20%程度いる。5年生ぐらいから、内容の難しさを感じ始める傾向にあるので、今後の課題である。

【保護者・学校関係者等の感想】

- ・新型コロナの関係もあるが、授業参観の機会を持ってほしい。特に、低学年では、どんな授業が行われているのか、興味深いところである。
- ・今の子どもたちは、小さい頃から英語に親しむことができたらうれしい。今はグローバルな時代になってきて、英語を話す機会も多くなってきているから、本市の外国語科には大変期待している。